

ICT推進特別委員会 行政視察報告

1月22日から23日にかけて、委員5名、議長、市当局1名、事務局随行者1名で、大阪府大阪市・八尾市を視察してまいりました。

■大阪府大阪市

ソフト産業プラザTEQSについて

大阪市では、国内外から人・モノ・投資・情報等が集まる魅力と活力あふれる都市を実現させるため、イノベーションが生まれる環境づくりの充実に注力しています。

その中で、市ではテクノロジー・ビジネスの支援拠点として、民間に業務委託し「ソフト産業プラザTEQS」を開設しました。

TEQSでは、技術で課題解決を目指す人達へ、ビジネスを創る・育てる・検証するという事業フェーズに応じて支援をする取り組みを行っており、ビジネスを創るところから、大きく成長させるところまでをワンストップで支援しています。

具体的な支援策としては、インキュベーションマネージャーと中小企業診断士による定期面談や日常相談を行い、事業の進捗状況を把握するフォローアップ事業や、資金調達や事業計

■大阪府八尾市

八尾市ICT推進ラボについて

八尾市は、大阪府内で製造業の数が4番目に多いものづくりのまちです。市の玄関口である近鉄八尾駅前の大手百貨店が平成29年に撤退した後、リニューアルした商業施設の8階を、人と企業が賑わうイノベーション推進拠点としています。

この拠点は、中小企業を中心とする35社が集まり検討を重ね、地域貢献という大義のもと、八尾の中小企業の英知を結集させて「魅せる場」として活用することとし、「みせるばやお」として、平成30年8月にオープンしました。

また、この拠点は商業施設の一角にあることから、子供中心の来場者が、楽しみながらもものづくり体験をすることで、次世代のクリエイティブ人材の育成を図るほか、参画企業がお互いを理解し、信頼し、交流を深め協働をして、企業同士のコラボレーションを生み出し、ものづくりのイノベーションへと繋げていくことを目的としていました。

具体的な事業内容の一つとして、八尾ローカルナレッジシェア推進ラボを設置し、空間・データ・人材のシェ



アリングエコノミーを推進することで、人材不足の改善のほか、製品企画等の分野における共同事業を促進させるほか、「みせるばやお」を核とした企業同士、または市民と企業の日常的な交流を通して、生まれる繋がりを可視化する取り組みなどを行っていました。

「みせるばやお」では、IoTの活用により会員企業同士の交流が促進される仕組みを創り出し、新たなものづくりの力が生まれていました。

■視察を終えて

先進地を視察し、インキュベーションマネージャーの重要性と、インキュベーションルーム運営についての民間委託の必要性を感じる有意義な視察となりました。

今後、委員会での調査・研究の参考としながら、加賀市が抱える課題の解決に取り組んでいきたいと思っております。

